

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分  
例会場：岐阜県郡上市八幡町小野 67(八幡建設 2F)  
TEL (0575) 67-0314 FAX (0575) 67-0005  
E-mail:rc-8man@abeam.ocn.ne.jp  
URL:http://gujohachiman-rc.com/

会 長 : 村土時男  
副 会 長 : 和田英人  
幹 事 : 水上成樹  
公共イメージ : 川井昭司  
会報担当者 : 松本英樹・河合 修

2019 年度国際ロータリー会長：マーク・ダニエル・マローニー (Decatur ロータリークラブ・米国)

2019 年度国際ロータリーテーマ：ROTARY Connects The World(ロータリーは世界をつなぐ)

<本日のプログラム>

第 2625 回 令和元年 8 月 23 日 第 4 金曜日  
社会奉仕例会  
(午後 6 時より慈恵中央病院にて)

<次回の予定>

第 2626 回 令和元年 8 月 29 日 第 5 木曜日  
会員増強卓話  
松森 薫会員増強委員長

<前回の記録>

第 2623 回 令和元年 8 月 8 日 木曜日  
物故者法要  
法音寺 郡上八幡支院 渡辺義彰様

出席報告 西村 肇出席担当責任者

会員数	出席	補正	出席合計	出席率
38 名(免除 1 名)	29 名	9 名	38 名	100%

司 会 進 行 國田大雄副 SA

点 鐘 村土時男会長

ソ ン グ 我等の生業

来 客 紹 介 村土時男会長  
法音寺 郡上八幡支院 渡辺義彰様

物 故 者 法 要  
法音寺 郡上八幡支院 渡辺義彰様による読経



ニコBOX 竹内巧治ニコ BOX 担当責任者

- ・本日は法音寺郡上八幡支院渡辺様、お忙しい中ありがとうございます。 村土時男
- ・先週の例会は昼食にうなぎが出て、大層美味でした。スタミナが出ました。田代さん、ありがとう。 澤崎 茂
- ・先週の土曜日の午後、手の甲を蜂に刺されポンポンに腫れました。運転ができないので例会は欠席かと思いましたが、腫れが引いたので出席できました。 澤崎 茂
- ・澤崎君、大歓迎。 大畑於左武
- ・法音寺郡上八幡支院渡辺様、本日はよろしくお願ひします。

畑中伸夫・羽田野優男・林 健吉・平岩憲政  
廣瀬泰輔・岩尾 誠・河合和也・河合 修  
國田大雄・前田伊三夫・松森 薫・松良 努  
水上成樹・森下 光・村井義孝・西川 昇  
西村 肇・小笠原正道・大畑於左武・大川達也  
坂本 仁・竹内巧治・田代東次郎・渡邊 剛



幹 事 報 告 水上成樹幹事

- ・RI 日本事務局より 2019 年 8 月 RI レートのお知らせ 1 ドル=108 円
- ・直前ガバナー事務所より、2018-19 年度地区資金決算報告書

- ・ 関中央 RC より「第 77 回東海北陸道グループクラブ対抗親睦ゴルフ会」のご案内
- ・ 可児 RC より例会変更のご案内
- ・ 郡上市役所環境水道部環境課より、郡上市環境団表彰規定に伴う表彰候補者の推薦について
- ・ ぎふ犯罪被害者支援センターより会費納入のお願いについて

< 拝受 >

- ・ 美濃加茂、関中央 RC より週報
- ・ 郡上市役所秘書広報課より「広報郡上」8月号

## 委員会報告

### 平岩憲政社会奉仕委員長

- ・ 8月23日(金)社会奉仕例会の連絡  
慈恵中央病院にて午後6時より

### 廣瀬泰輔青少年奉仕委員

- ・ 8月3日(土)中高生鮎友釣り選手権の報告



会員より12名が参加、来場者用の鮎の塩焼きの準備などを行いました。ご参加くださいました皆さん、ありがとうございました。

## 会長の時間 村土時男会長



先ほどは物故者法要のお経を賜り、ありがとうございました。今日は、亡くなられた方達が見てくれているような気がします。

委員会報告にもありましたが、社会奉仕・青少年奉仕の活動に多数の方に参加をして頂き、ありがとうございました。

## 講話 法音寺郡上八幡支院 渡辺義彰様



皆様、暑い中ようこそご参集頂きました。また今年もこうしてご招待して頂き、本当にありがと

うございます。今年も暑い日が続いておりますが、ここへ来ますと皆様いつも大変お元気で、先ほどお聞きしましたら100歳の方がみえるということでした。大変ご尊敬申し上げます。

私は月に5~6回ほど名古屋へ行きますが、仲間から八幡は暑いと言われたので、お陰様で日本一暑いと言うと、その暑さではなく郡上おどりも熱いし、町も熱いということでした。この熱いは、元気ということでしょうか。過疎地ということ跳ね返す元気があるということだと、ありがたく思っております。

テレビを見ていたら、元気の塊のような方がお二人登場しました。お一人は、ゴルフの全英オープンで優勝した渋野さんです。去年プロテストに合格して、初めての海外ツアーでの優勝です。渋野さんの笑顔がとても素敵なので、外国の方からもとても人気でした。とても元気なのでプレッシャーとかないのかなと思っていたら、プレー中に日本に帰りたと思うことが何度もあり、気疲れて大変だったということでした。想像できないことを言われ、記者の方が笑顔の理由を尋ねると「ごまかします」と、笑ってごまかしていたということでした。大した方だなと思いました。もう一人は、政治家の小泉進次郎さんです。結婚発表を総理官邸でされました。この方もとてもお元気だなと思いました。このお二人の話は、暑さも吹き飛ばすようでした。

しかし、元気ということにも色々あります。体の元気と心の元気です。自分は体も心も元気で、病院なんかに行ったことがないという、70代の男性の方がおられました。別の方は、体は元気だけど心の方がちょっと…と言われました。また、体は病んでるけれど心は元気ですと言う方がおられました。この方は淀川長治さんです。淀川さんは入院中、病室の入り口に「この病室に入る人は笑いながら入ってください」と張り紙をしました。そこへお見舞いに行った永六輔さんが「もう最後かと思ってお見舞いに来たけど、元気そうじゃないか。あの張り紙はなんだ?」と聞きました。淀川さんは「自分はもう長くはないかもしれないが心は元気だから、いつも通りの話をしたい。欲しい。」と笑って言われたそうです。こんな風に言うことは、なかなか難しいと思います。

4人目の方は、体も心も病んでいるという人です。こうなると、どういう言葉を返していいかわかりません。体と心の元気が一致することは難しいですが、この4人のような状態が交互に巡ってくるのが私達の人生なのかなと思ったりします。体も心も元気な時もあれば、どちらかが弱る時もある。また、どちらも辛い時もある。それが生きている証だと言われそうですが、病気をしている当人にしたら辛い言葉かもしれません。

いつでもどこでも、何があっても何もなくても、ありがたいなと思って暮らしていくことは並大抵

のことではないかもしれませんが。お釈迦様は、この世は苦だと仰ったそうです。苦というのは中国の方がそう訳したからですが、本当の意味は思うようにならないということだそうです。この世は思うようにならないものだ、よく言われる四苦八苦というのがそれです。生・老・病・死(しょう・ろう・びょう・し)で4つ。もう4つの苦は、大事な人との別れ、求めるものが得られない、嫌な人との出会い、五感が鋭いゆえの苦しみです。でも、苦があることが全て悪かということ、そうでもありません。苦しい時を乗り越えたその先に、幸せがやってくることを知るといふ、本当の喜びを実感することができます。苦の渦の中に入ってしまうと、どこまでも深く落ち込んでしまうことが問題だということです。

大石順教という尼僧は、元は大阪で芸妓をしていました。18歳の時に事件に巻き込まれ両腕を切断されてしまいました。その後は生活のため旅巡業をしていました。ある日、カナリアを見ていると、手が無いのに綺麗な声で人を楽しませていることに気が付きました。このことをきっかけに、彼女は尼僧を志しました。その方が「人生は焼き火箸を握ったまま離さないことだ」と仰いました。この方の苦しみと比べたら、私の苦しみなんてたいしたことないなと思います。

また、恋の病なんてなんでもないと言う人もいれば、その病が故に生きているのが辛いと言う人もいます。そうになると、苦しみと喜びの境界の線引きは人それぞれということです。何が正しくて何が間違いなのか、何を支えとして何を抛り所としていけばいいのかということ、簡単な問題ではないし、軽々しく言うことでもありません。その結論を考える時、人は何のために生まれてくるのだろうか、何故自分は生きているのだろうかと思うことがあります。このことには理由があり、目的があると仰った方がいます。100年も変わらない同じ時期に3人の聖人が生まれました。一人はソクラテス、もう一人は孔子です。最後の一人がお釈迦様です。ソクラテスは“汝自身を知れ”と仰いました。孔子は“朝(あした)に道を聞かば夕べに死すとも可なり”と仰いました。お釈迦様は、人は何のために生きるのか、その目的は何かと仰いました。簡単に言いますと、苦集滅道(くじゅうめつどう)の真理というものです。「苦」は思うようにならないこの世のことです。「集」は思うようにならないように過ごしてしまう私の心です。

「滅」は私の心を取り除くことによって苦しみから解放されることです。「道」は苦を滅する方法です。その方法とは「六波羅蜜(ろくはらみつ)」と呼ばれる行いです。簡単に言うと「施し」です。周りの人に自分の立場を通して皆さんが日頃からされていること、そのものです。周りの人を力づけ喜びを与える、それが六波羅蜜の具体的な働きです。

身の回りのいざこざに第三者が加わって大変な争いになるというのが、世界の縮図のようなものです。日本の犯罪の六割は身内からだと聞きましたが、一番難しいのは自分の周りにいる人との関係だということでしょうか。そんな時には、お釈迦様が説かれたことをヒントにして乗り越えて頂けたら幸いです。

今日はありがとうございました。